



GEC

バンドン・エコタウン・ワークショップと環境創造展

Bandung Eco-town Workshop and Eco-Creative Fest-Fair

「リサイクル社会」の形成における地域や民間企業の情報や経験の共有

Sharing Information and Experiences

in Developing "Recycle Oriented Society" for Communities and Industries

公益財団法人 地球環境センター

藤田 眞

Makoto Fujita

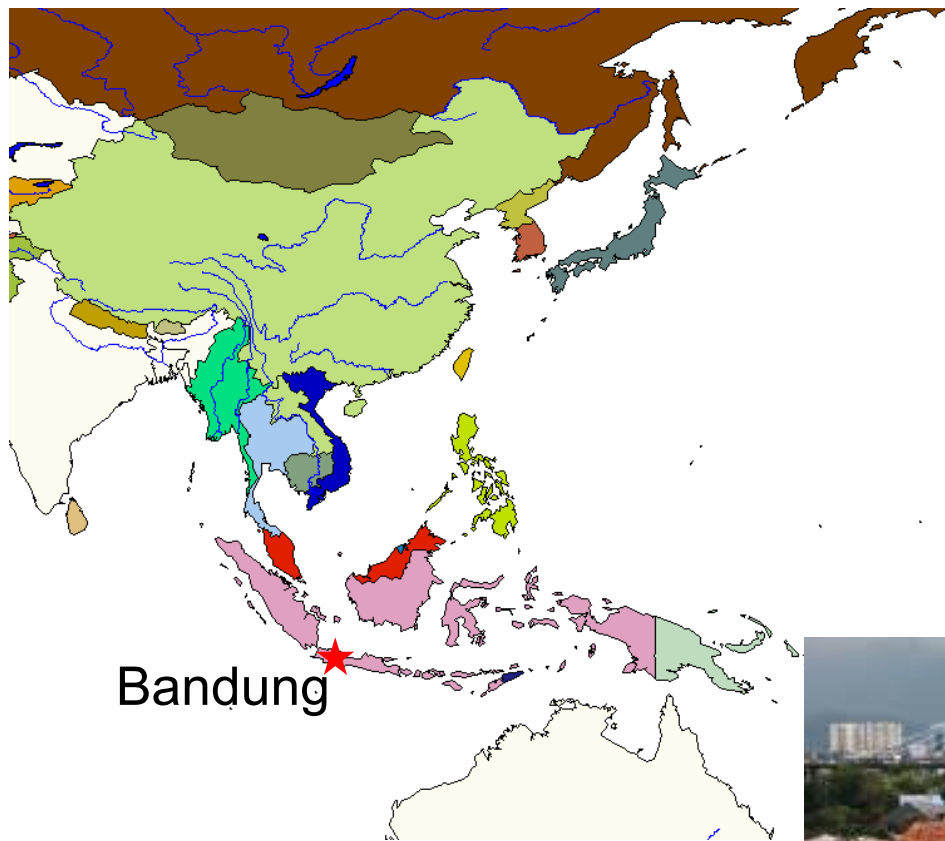
Global Environment Center (GEC), Osaka, JAPAN

背景

- ・ 地球環境センター(GEC)は、日本の大阪にある国連環境計画国際環境技術センター(UNEP/IETC)の支援組織です。
- ・ GECは、2004年から「UNEP/IETCのエコタウン・プロジェクト」を支援することとし、開発途上国での廃棄物管理の改善や循環型社会への移行のために役立つ情報を提供することを目的として、日本のエコタウンの概念・施策・取組みを紹介するとともに、開発途上国での廃棄物管理やリサイクル産業の現状調査、エコタウンに関するセミナーの開催やレポート・出版物の作成を行ってきました。

バンドン市の概要

- インドネシア・バンドン市は、UNEP/IETCのエコタウン・プロジェクトの対象都市の一つで、川崎のエコビジネスフォーラムにも2006年から参加しています。



Bandung City

•Population: 2.4 million

•Area: 168 sq. km

Bandung Metropolitan Area

•Population: 7.4 million

•Area: 2,217 sq. km



バンドン市の概要

- バンドン市では、市長の強力なリーダーシップにより、環境に関する取り組みが進められています。
- また、エコタウンの取り組みとして、次の活動が進められています。
 - 環境政策の枠組みの概念化
 - 産業界との対話や意識付け
 - 市民認識の向上や環境活動への市民参加



2010年2月 第6回川崎エコビジネスフォーラム

- バンドン市は、“Eco-Creative Fair”と“Eco-town Workshop”の開催の計画を発表しました。これらは、川崎市のエコビジネスフォーラム及び環境技術展のようなイベントを、バンドンでも開催したいとのことから計画されたものです。
- 一方、GECは、日本のエコタウンで用いられているリサイクル技術の調査結果を報告するためのワークショップの計画を発表しました。
- このように、川崎エコビジネスフォーラムでの情報交換がきっかけとなって、バンドン市とGECは2010年9月にバンドン市でエコタウン・ワークショップを共催することとなりました。

エコタウン・ワークショップの目的

- 当初GECは、日本およびインドネシアでのリサイクル技術の適用例、開発途上国で適用可能な日本のリサイクル技術を紹介することを計画していました。
- 一方バンドン市は、2010年に市制200周年を迎え、記念のイベントを開催することを計画していました。
- そして、3Rの推進に関係する中央政府・州政府・市政府・民間企業・コミュニティーのそれぞれのリサイクル社会の構築に向けての取り組みの情報を共有することにより、各ステークホルダーの意識を向上させることを目的として、“Eco-Creative Fair”と“Eco-town Workshop”とリンクさせることが計画されていました。

エコタウン・ワークショップと環境創造展

◆ エコタウン・ワークショップの目的

- エコタウンの実施やエコタウン・シティに向けたインドネシア及び日本での自治体・地域・民間企業の情報や経験を共有する
- 環境に及ぼす負の影響を低減させ、循環型社会を形成するために、地域や民間企業によって採用されるべき適正な技術に関する情報を共有する。
- 環境技術の適正な利用のために必要となる組織の環境に対する方針や施策が重要であることに光を当てる

◆ “Eco-Creative Fair-Fest”の目的

- バンドン市での3R活動に関する地域(コミュニティー、学校、民間など)の取り組みや新たなアイデアや、企業の環境配慮製品やエコグッズを紹介・展示する

エコタウン・ワークショップと環境創造展

■ エコタウン・ワークショップ

開催日：2010年9月21日

会場：バンドン市役所 会議場

■ 環境創造展

開催日：2010年9月21-22日

会場：バンドン市役所 庭園



エコタウン・ワークショップの参加者

- バンドン市から
 - 市長が開会あいさつ
 - 市の事務局長がバンドン市の取り組みを発表
「バンドンの環境と調和に向けたエコタウンの取り組みについて」



エコタウン・ワークショップの参加者

■ 中央政府から

- 環境大臣を招待することに成功
- 環境大臣が基調講演を行った
- インドネシア環境省の取り組みも発表

「ADIPIRAプログラムの活性化: エコ・シティに向けての環境上
持続可能な都市」



エコタウン・ワークショップの参加者

■ 海外から

- UNEP/IETC Dr. Hari Srinivas

「アジア太平洋地域におけるエコタウン」

- GEC 藤田 眞

「日本における民間企業や地方自治体のエコタウンの取り組み」

- JETRO アジア経済研究所 小島 道一氏

「開発途上国での環境技術の適用について」

- ペナン 社会経済環境研究所 Mr. Ben Wismen

「ペナンにおけるエコタウン環境政策の作成」



エコタウン・ワークショップの参加者

■ 州政府から

- 西ジャワ州環境保護局

「バンドン地域におけるエコタウンの構築のための西ジャワ州の取り組みについて」

■ 民間企業から

- PT. Prasadha Pamunah Limbah Industri (DOWAグループ)
 - 産業廃棄物の回収・処分について
- PT. Indonesia Toray Synthetics (東レグループ)
 - 生産過程での廃棄物削減・リサイクルと社会貢献について
- PT. Mukti Mandiri Lestari (インドネシア企業)
 - 廃電気電子機器の処理・資源回収について

エコタウン・ワークショップの参加者

- コミュニティーから
「コミュニティ・レベルでの
市の環境改善の実施における
経験の共有」



“Eco-Creative Fair-Fest”

- バンドン市とパジャジャラン大学エコロジー研究所が主催
- 48のブースにNGO・コミュニティ・学校・民間企業が出展



Eco-Creative Fair

- PT. Prasadha Pamunah Limbah Industri (DOWAグループ)
- PT. Indonesia Toray Synthetics (東レグループ)
- PT. Mukti Mandiri Lestari (インドネシア企業)
- PT. Tetra Pak & Kontak (テトラパック・グループ)
- A-Wing International (日本企業、小型風力発電機)



Eco-Creative Fest



コンポスト普及の展示



学校の取り組みの展示



包装紙リサイクル製品の展示



緑化の展示

まとめ

- バンドン・エコタウン・ワークショップの構想は、川崎エコビジネスフォーラムの移転から始まりました。
- ただしバンドンでは、循環型社会に関する市民や企業の認識向上や参加の促進を目的として、エコタウンの構築に関する各ステークホルダーの取り組みの情報共有を行うもので、川崎エコビジネスフォーラムとは異なる独自のワークショップです。
- 循環型社会の構築には、ステークホルダーの認識向上や参加が重要な要素であり、情報公開や情報共有はこのことを促進するものです。
- 川崎エコビジネスフォーラムやバンドン・エコタウン・ワークショップが移転されていくことは、世界の各都市の循環型社会に向けて取り組みに役立つと思われれます。

GECは、2011年12月頃に、エコタウンに関するワークショップの開催を計画しています。

エコタウンの取り組みに携わっておられる方のご参加・ご発表をお待ちいたしております。

ご清聴ありがとうございました。

